

2025 年度 機械保全技能検定

電気系保全作業

3 級 実技試験の概要

機械保全技能検定試験の電気系保全作業実技試験は本概要に記載の「試験時間」、「機材・支給材料」、「受検者が持参するもの」で試験を実施します。

本概要と試験問題(事前公開用)をよく確認して試験の準備をしてください。

1. 試験時間	P.2
2. 機材・支給材料(試験会場に準備されているもの)	P.2
(1)機材等	
(2)支給材料	
(3)試験に使用する備品	
3. 受検者が持参するもの	P.5
(1)筆記用具等	
(2)使用工具	
4. 採点項目	P.6
5. 注意事項	P.7



厚生労働大臣指定試験機関
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

1. 試験時間

課題番号	試験時間	
	標準時間	打ち切り時間
課題 1	50 分	60 分 (標準時間 50 分 + 10 分)
課題 2	30 分	50 分 (標準時間 30 分 + 20 分)

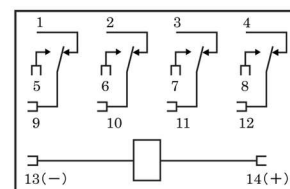
※ 集合から試験終了まで 180 分程度を要します

2. 機材・支給材料(試験会場に準備されているもの)

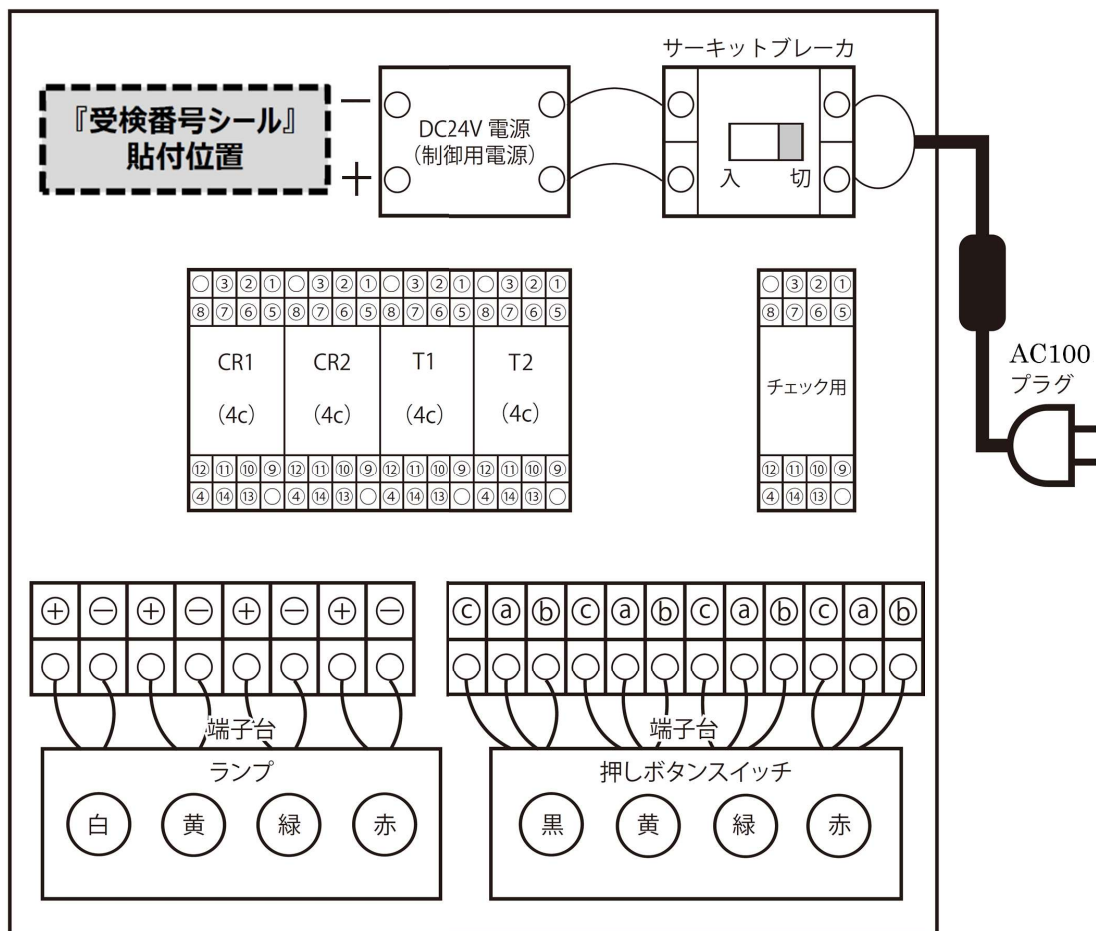
受検者 1 名に下記(1)～(3)が準備されています。

(1) 機材等

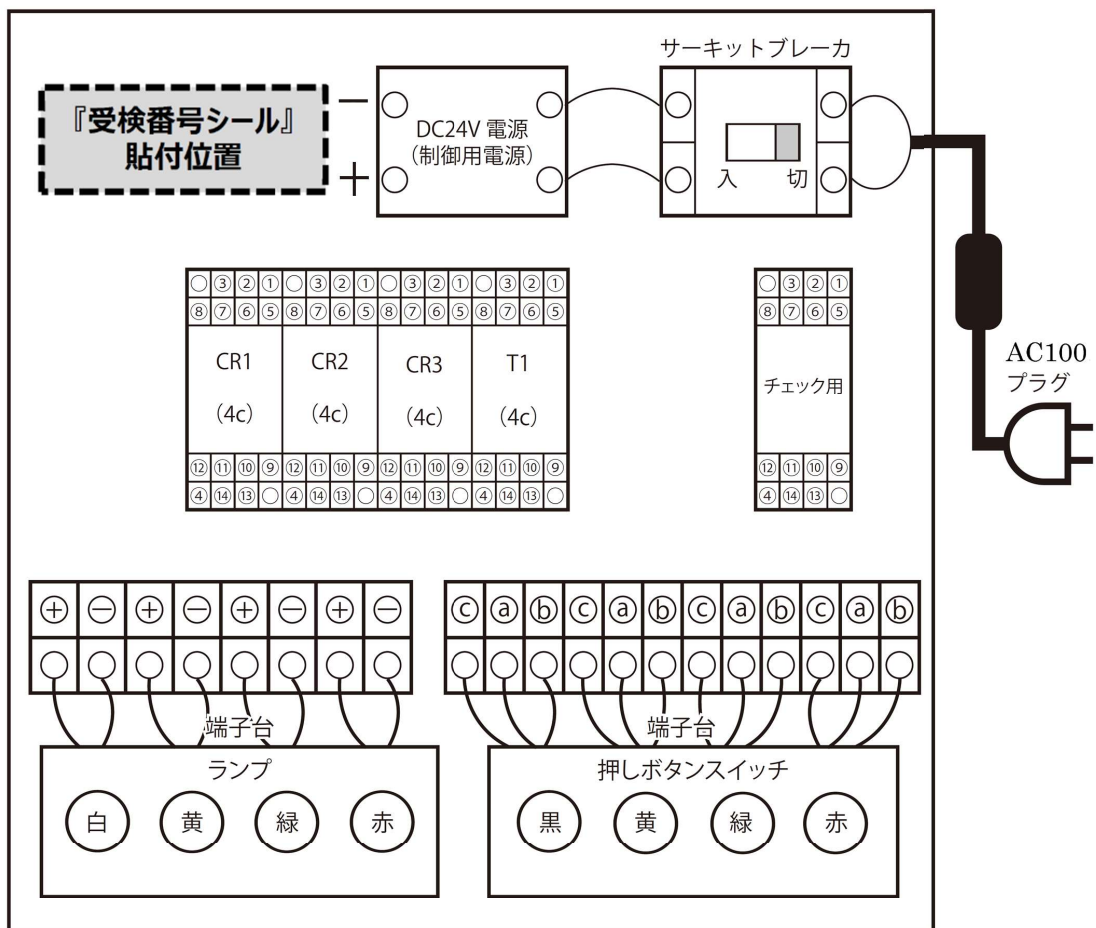
区分	品名	仕様・規格		数量	備考
機 材	試験用盤	表示ランプ(DC24V 用)		4	・詳細は次頁の試験用盤の部品配置およびソケット配置図(例)を参照
		押しボタンスイッチ (自動復帰型)		4	
		ソケット(レール含む)		5	
		サーキットブレーカ(1A)		1	・電源からサーキットブレーカまでと、サーキットブレーカからプラグまでは配線されています
		電源用配線およびスイッチ		1	
		DC24V 電源		1	・端子台およびソケットのネジサイズは No.2(M3)です
		ランプ用端子台(8P)		1	
		押しボタンスイッチ用端子台(12P)		1	
	リレー	ミニチュアリレー (DC24V用、4c)	課題 1 用 (良品のみ)	2	リレー、タイマの内部配線図 ※タイマには極性があります
			課題 2 用 (不良品含む)	4	
	タイマ	ミニチュアタイマ (DC24V用、4c)	課題 1 用 (良品のみ)	2	
			課題 2 用 (不良品含む)	2	
電 源	コンセント	AC100V 2 極コンセント平行型 (接地極なし)		3 口	・家庭用コンセントと同型 ・アース対応なし ・3P タイプは使用できません



試験用盤の部品配置およびソケット配置図 例(課題 1)



試験用盤の部品配置およびソケット配置図 例(課題 2)



(2) 支給材料

品名	仕様・規格	数量	備考
KIV 線	0.75 mm ² (青色)	8m	課題 1 用
	0.75 mm ² (白色)	1 m	課題 2 用
圧着端子	1.25 mm ² Y 型 裸圧着端子	100 個	絶縁処理なし

※ 不足した場合は追加支給します

(3) 試験に使用する備品

品名	仕様・規格	数量	備考
紙トレイ	配線クズ入れ(紙製) 概略寸法 195×100×15 mm	1	作業中に発生した配線クズを入れるものです
受検番号シール	試験用盤への貼付用	2	課題 1 用 1 枚 課題 2 用 1 枚

3. 受検者が持参するもの

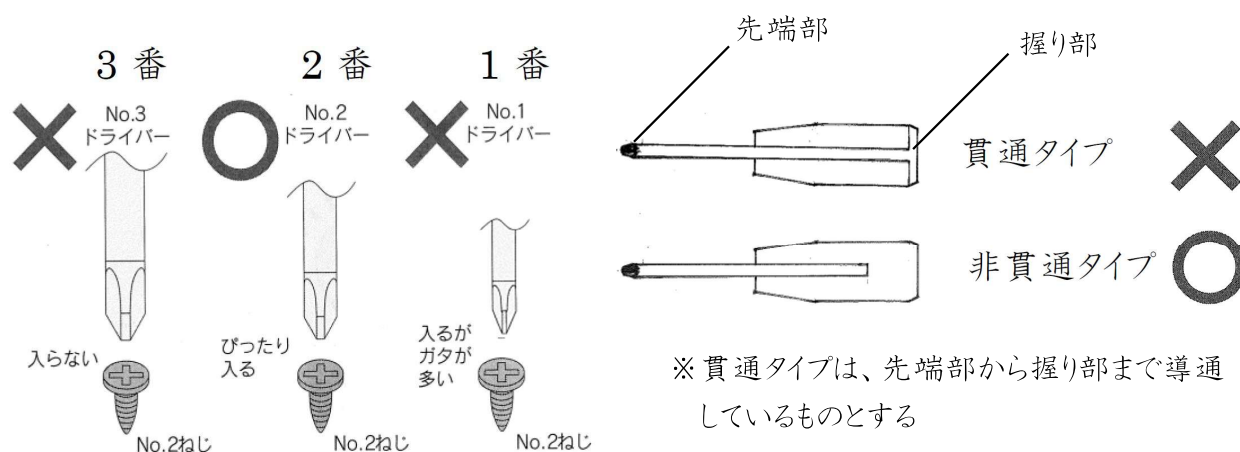
(1) 筆記用具等

品名	備考
受検票	A4 サイズの用紙に片面印刷
HBかBの鉛筆またはシャープペンシル	解答用紙(マークシート)への記入用
消しゴム	
マーキングペンまたはボールペン	作業中のチェック用
腕時計	会場によっては時計の設置が無い場合、見にくい場合があります ※ストップウォッチ、ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)、 置時計は不可

(2) 使用工具

区分	品名	仕様・規格	数量	備考 (仕様・規格の補足説明)
工具類	十字ねじ回し (プラスドライバ)	2番	1	・2番以外は使用不可 ・電動式や貫通(導通)タイプは使用不可
	ニッパ		1	・KIV線0.75mm ² が切断できるものであれば可
	ワイヤストリッパ		1	・KIV線0.75mm ² の被覆を剥がせるものであれば可
	圧着ペンチ	裸圧着端子用 ラチェット機能付き	1	・裸圧着端子用以外は使用不可 ・ラチェット機能ないものは使用不可 ・圧着端子1.25mm ² をKIV線0.75 mm ² に圧着できるものであれば可
	回路計 (テスタ)	デジタル、アナログ どちらでも可	1	・テスタ測定端子のワニロクリップは使用可(仮配線などでの使用は不可) ・ヒューズ・電池交換用工具を使用する場合は許可を得て使用すること

＜十字ねじ回し(プラスドライバ)の参考例＞ (○印は使用可、×印は使用不可)



4. 採点項目

試験中および試験終了後に下記の項目を技能検定委員が採点します。

試験当日は、技能検定委員は合否の判定を行いません。

採点項目	おもな採点ポイント
工 具	指定された仕様・規格の工具を用いて、正しく使用できているか など (指定されたもの以外は、使用できないことがあります)
安全および 作業態度	安全に配慮して作業を行っているか(活線作業など) 作業終了後、整理整頓されているか など
仕様動作	仕様どおりに動作するか など
作業時間	所定の時間内に作業を終えたか など (標準時間を超えた場合、超過時間に応じて減点されます)
回路点検	不具合の箇所を正しく特定できているか など
回路組立	配線は適切に行われているか 圧着は適切に行われているか など

5. 注意事項

□服装

- ・作業時の服装・身なりなどは、作業に支障のないものとしてください。
(帽子、安全靴は必要ありません)
- ・試験中は、腕時計を含むアクセサリー類は身体に装着できません。
なお、腕時計は、机の上に置くことができます。

□機材・支給材料(試験会場に準備されているもの)

- ・試験会場で準備されている機材・支給材料は持ち帰りできません。

□受検者が持参するもの

- ・5 ページに示す「3.受検者が持参するもの」を参照して、必要なものを持参してください。
- ・試験会場では、筆記用具・機材・工具類の貸し出しはできません。
- ・試験開始の前に、持参した工具が、指定された仕様・規格であるか、技能検定委員が確認します。

□試験問題

- ・試験当日改めて指示内容が記載された試験問題を配布します。
- ・試験会場で配布される試験問題は、持ち帰ることはできません。

□集合時間～試験

- ・集合時間までに来場されていない場合は受検できません。
- ・説明開始時間以降の途中入室、退室はできません。
- ・試験に関する注意事項は試験当日に説明します。
- ・試験会場では、技能検定委員および係員の指示に従ってください。
- ・試験中、本概要、試験問題(事前公開用)や各種の参考書・マニュアル類などを参照することはできません。

□動作確認～採点

- ・挙手をした後は、技能検定委員の指示する作業(電源の ON-OFF、試験用盤の押しボタンスイッチの操作)以外はできません。
- ・配線の修正、リレー・タイマの抜き差し、タイマの設定変更などの作業はできません。
- ・受検者自身で動作の確認が必要な場合は、挙手する前に行ってください。

以 上



厚生労働大臣指定試験機関

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance

2025 年度 第 2 回 機械保全技能検定

電気系保全作業

3 級 実技試験 試験問題

<事前公開用>

機械保全技能検定試験の電気系保全作業実技試験は実技試験の概要に記載の「試験時間」、「機材・支給材料」、「受検者が持参するもの」で試験を実施します。

実技試験の概要と本試験問題をよく確認して試験の準備をしてください。

課題 1: 有接点シーケンスによる回路組立作業

課題 2: リレー・タイマの点検、有接点シーケンス回路の点検および修復作業

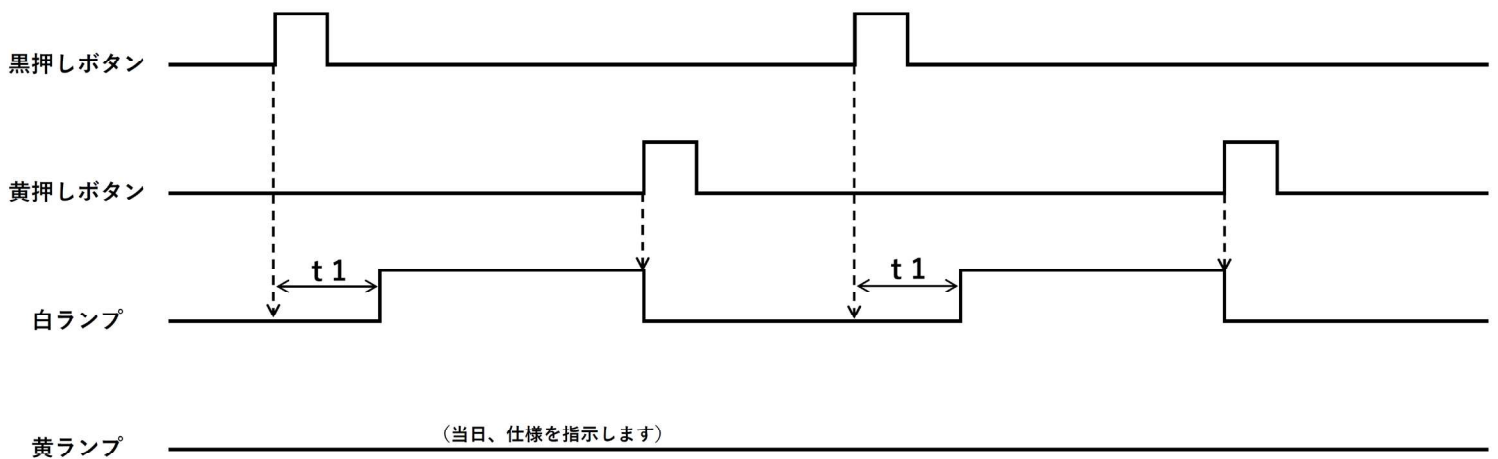
課題 1

下記に示す条件に基づき、試験用盤とリレー・タイマを用いて、入力 2 点および出力 2 点の配線を行い、回路を完成させた後、作動させなさい。なお、黄ランプの仕様については、試験当日に指示します。

○条件

・タイムチャートの始まりと終わりは、論理「0」とする

○仕様(タイムチャート図)



タイマの設定時間 $t_1 = 2$ 秒

課題 2

①リレー・タイマの点検

与えられたリレー・タイマを点検し、良・不良の判定ならびに不良原因を解答用紙(マークシート)に記入しなさい。なお、リレー・タイマの点検は、下記に示す条件に従って行いなさい。

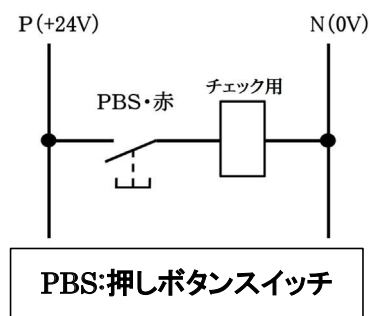
○条件

- ・リレー・タイマのチェック用ソケットの配線(黄色)を変更しないこと
- ・リレー・タイマの点検は、回路計(テスタ)および試験用盤のチェック用ソケットを用いて行うこと
- ・a 接点溶着による b 接点の導通不良の異常内容は a 接点の溶着である
- ・b 接点溶着による a 接点の導通不良の異常内容は b 接点の溶着である

○試験用盤のチェック用ソケット

配線は下図のとおり。

なお、チェック用回路は、黄色で配線している。



○リレーおよびタイマの不良原因

- ・コイルの断線
- ・コイルのレアショート
- ・メーク接点(a 接点)導通不良
- ・メーク接点(a 接点)溶着
- ・ブレーク接点(b 接点)導通不良
- ・ブレーク接点(b 接点)溶着

②有接点シーケンス回路の点検および修復作業

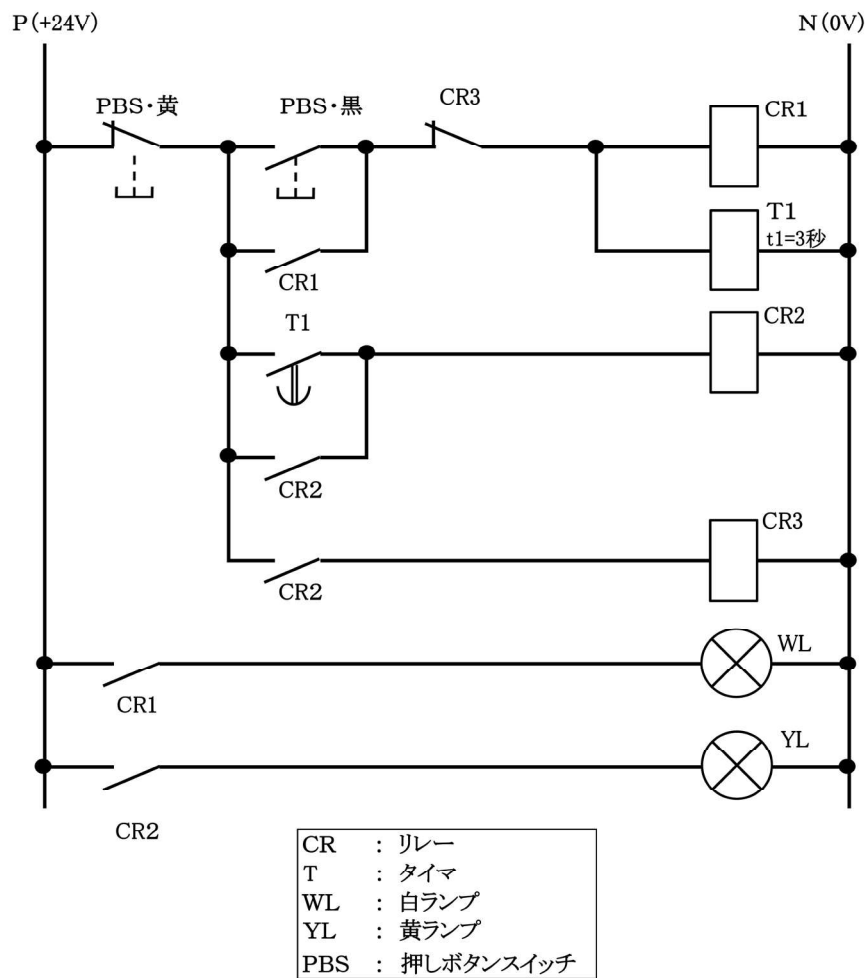
次頁に示す回路図(有接点シーケンス回路)を参考に、試験用盤を点検し、不良箇所のみを修復しなさい。なお、修復作業は、下記に示す条件に従って行いなさい。

ただし、ランプおよび押しボタンスイッチと端子台の間、チェック用回路の黄色の配線には、異常はないものとする。

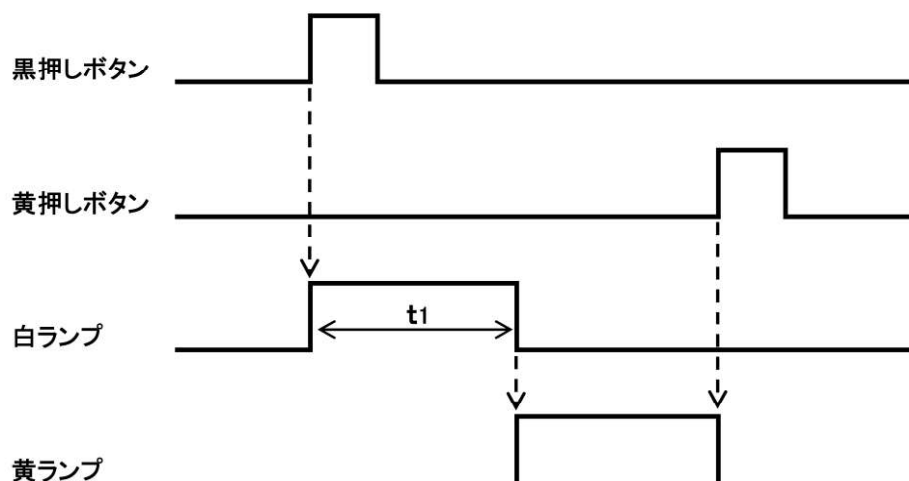
○条件

- ・リレー・タイマは、「①リレー・タイマの点検」の結果、良品と判定したものを使用すること
- ・修復した箇所は、指示された白色の線を新たに加工して配線すること
- ・不良箇所として配線(青色)を取り外した場合は、取り外した線を切断、折り曲げ、ペン等で印(マーク等)をしないこと
- ・試験用盤上にあるソケットや配線類にペン等で印(マーク等)をしないこと

○回路図(有接点シーケンス回路)



○タイムチャート図



タイマの設定時間
 $t1 = 3$ 秒

○参考 接点図記号

	メーク接点 (a接点)	ブレーク接点 (b接点)
押しボタン スイッチ		
接点 (リレー接点)		
限時動作瞬時復帰接点 (タイマ接点)		

空白ページ



厚生労働大臣指定試験機関

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance